

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	MX05	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.038	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：MX05

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

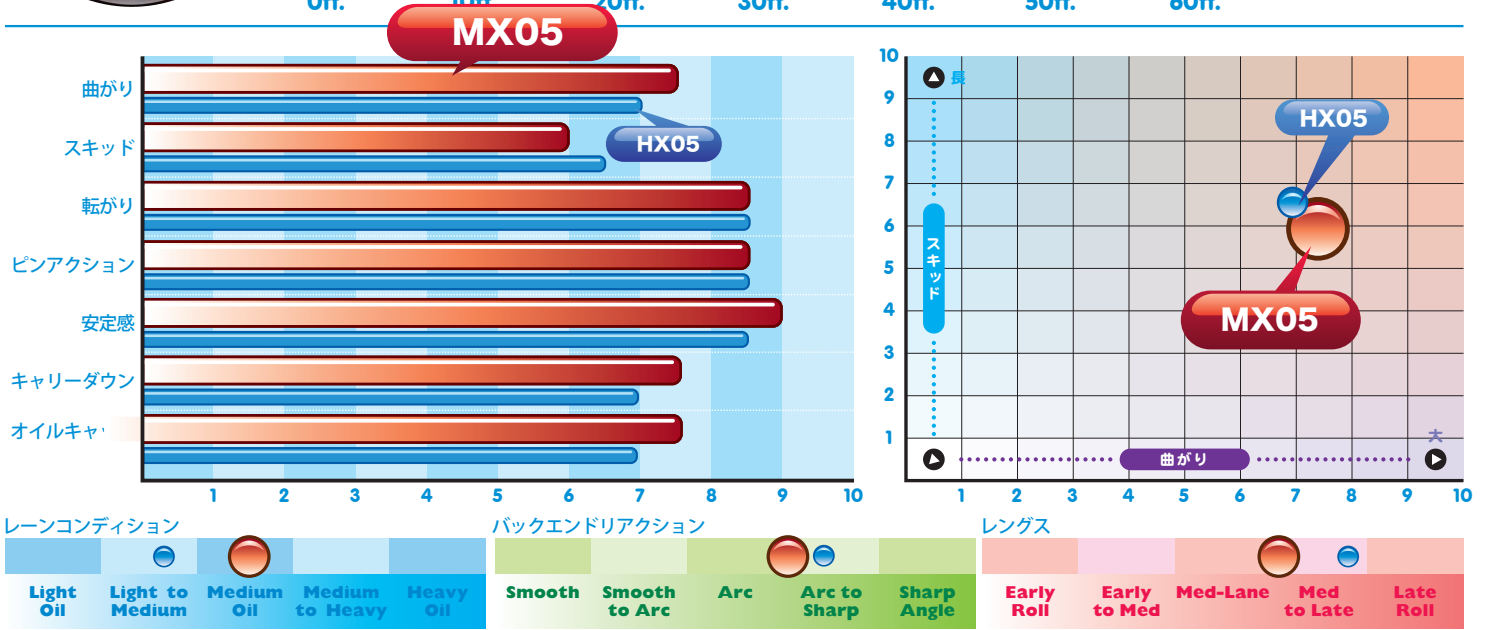
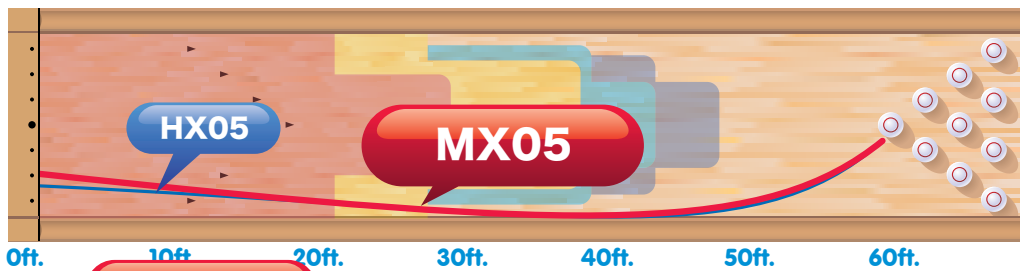
比較対照ボール：HX05

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

常に支持されるボールに必要な性能の要素は”期待を裏切らない”ことと”万能性”であると言っても良いでしょう。今回TRACK社から発売されるMx05は、どのようなカバーストックでも適応範囲が広いキネティックに代表されるModified Kinetic Core、ミディアムコンディションを中心にスキッドとキャッチのバランスが取れたMR-4 (medium response) Pearl CoverStockとで構成されています。

MR-4 Pearl CoverStockはミディアムレスポンス領域では初めてのパール素材を中心に構成されていて、以前に発売された”M”領域のMx16、Mx10に使用されているHybrid Coverstockとは違った良さができています。それはKinetic Coreを採用したボールの殆どは大きく派手に曲がったり、じゃじゃ馬のように暴れるように仕上げるのではなく、扱いやすくコントロール性能を生かしたものと開発のコンセプトになっているからです。そのためKinetic CoreのRG数値を低めて転がりやすくさせ、MR-4 Pearl Coverstockで手前の走り感とバックエンドの反応の良さを引き出しています。

私はテストした時からこのボールが非常に気に入っていて、オイルに弱いわけでもなく、かと言って嘖み過ぎることもなく、コンディションの状態を知るには必要なベンチマーク的な役目を果たすボールだと思っています。軌道は読みやすいし、私程度のRevでも性能はしっかりと出てくれます。”M”の領域ならではのバランスの良さが幅広く使える理由なのだと思います。

特記事項

ミディアムクラスではバランスの取れたカバーストックに”外れない”Kinetic Coreとの組み合わせ。バランスが良く、コンディションを読み取る大切なベンチマーク的な役目をするボールです。